



とちのみ通信

VOL. 12

2026 年 6 月 生活介護事業所とちのみ 〒191-0033 東京都日野市百草 1042-21 <https://mogusa-asunaro.jp/seikatu> MAIL: tochinomi@kashima-kaihatsu.co.jp TEL:042-506-5780

日頃より、とちのみの活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。
大切なお知らせと行事の様子などをお伝えします。

施設長よりごあいさつ

いつも大変お世話になっております。

2 月から、とちのみ施設長が、有澤に代わりました。これまでの良いところは更に伸ばし、変えていくところは、職員間でよく話しあいながら進んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。運営方針としては、「本人主体」「利用者の方とは、成人の大人と同じように接する（その方にあった工夫はいたします）」「年間の行事は数より質を高める」等決めさせていただきました。

以前も家族会にてお話しさせていただきましたが、私は、主に知的障害の方の入所施設に 30 年働いていました。その経験を書かせていただきます。

障害をお持ちのご家族（特にお母様たち）は、小さな時からほぼご自身でお子様たちを必死に育て、守って来たことは大変だったと思います。いろいろなサービスが揃ってきた今でも何か一つ足りない、不十分さを抱えながら頑張っていらっしゃることと思います。

私が入所施設で経験したことの一つに、ご家族の状況の変化等でいきなり緊急入所した方の事例があります。毎日、髪の毛がごそっと抜けてしまった方、食事を拒否し大声で叫ぶ方、玄関から離れず「マンションに帰ります」と何度も出ていってしまいう方、お風呂の拒否、着替えの拒否など・・・ほぼ 50 代の方でした。自分の状況を受け入れられず必死で抵抗されていて私も胸が苦しなった記憶は今でも消えません。

どうしたら良かったのか？

ではどんな方がさほど苦労しないで、施設の暮らしを受け入れられたのか。

自分の気持ちを伝えられる人。（言葉だけではなく） 自分の時間を過ごせる人。人に執着せずマイペースな人。だと

